

# 盛岡市内の主な遺跡と時代

時代	年代	西暦	主な出来事	市内の主な遺跡	令和7年度調査遺跡	
原始	旧石器時代		大陸と地続き、大型の動物が生息する	小石川遺跡(藪川)		
		草創期	12,000年前	土器の使用がはじまる	大新町遺跡(大新町)	
	縄文時代	早期	8,000年前	定住化がすすむ	館坂遺跡(前九年) 庄ヶ畑A遺跡(上米内) 大新町遺跡(大新町) 日戸遺跡(日戸) 新茶屋遺跡(山岸) 上八木田遺跡(新庄) 畑遺跡(上米内)	
		前期	6,000年前	気候の温暖化、海面の上昇 漁労の発達、各地に大型住居が出現	【県史跡】大館町遺跡(大新町) 柿ノ木平遺跡(浅岸) 繫V遺跡(繫) 上米内遺跡(上米内) 川目C遺跡(川目) 湯沢遺跡(湯沢) 大葛遺跡(浅岸) 落合遺跡(下米内) 萩内遺跡(繫) 上平遺跡(猪去)	小山遺跡(東中野町) 上米内遺跡(上米内) 右京長根遺跡(緑が丘)
	中期	5,000年前	各地に大規模な縄文集落が発達	川目A遺跡(川目) 宇登遺跡(川又)		
	後期	4,000年前	気候の寒冷化 ストーンサークルがつくられる			
	晩期	3,000年前	東日本で亀ヶ岡文化が栄える			
	古代	弥生時代		紀元前 水田耕作の開始 金属器の使用が始まる	繫VI遺跡(繫) 一本松遺跡(下米内)	
			紀元後	57	倭の奴国王が後漢の光武帝より印綬を賜る	
		古墳時代		239	邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを出す ヤマト政権、統一進む	永福寺山遺跡(下米内) 薬師社脇遺跡(浅岸)
飛鳥時代			1,400年前	593 聖徳太子が摂政となる 645 大化の改新	上田蝦夷森古墳群(黒石野) 竹鼻遺跡(上鹿妻)	
奈良時代			710 平城京に都をうつす 724 多賀城が築かれる	太田蝦夷森古墳群(上太田) 百目木遺跡(三本柳) 台太郎遺跡(向中野) 釜崎遺跡(好摩)		
		平安時代		774 陸奥国38年戦争始まる(~812年)	西鹿渡遺跡(三本柳) 永井古墳群(永井) 館・松ノ木遺跡(上太田)	
			794 平安京に都をうつす 胆沢城(802)志波城(803)徳丹城(812) が築かれる 894 遣唐使が停止される	【国史跡】志波城跡(下太田) 台太郎遺跡(向中野) 前野遺跡(浅岸) 乙部方八丁遺跡(乙部) 林崎遺跡(下太田) 芋田遺跡(芋田) 稻荷町遺跡(大館町・稻荷町) 内村遺跡(下飯岡)		
中世・近世		鎌倉時代		1016 藤原道長が摂政となる 1051 前九年の戦い(~1062年) 1083 後三年の戦い(~1087年) 1124 中尊寺金色堂完成 1189 奥州藤原氏滅亡	大宮遺跡(本宮) 堰根遺跡(浅岸) 台太郎遺跡(向中野) 落合遺跡(下米内)	
			室町時代		1336 南北朝に分かれ、対立する 1338 足利尊氏が征夷大将軍となる 1404 足利義満、明との貿易を開始する 1467 応仁の乱	里館遺跡(天昌寺町) 安倍館遺跡(安倍館町) 日戸館遺跡(日戸) 下田館遺跡(下田)
		安土桃山時代			1588 南部信直が志和郡を攻略する 1590 豊臣秀吉が天下を統一する	【市史跡】玉山館遺跡(玉山) 【国史跡】盛岡城跡(内丸)
	江戸時代			1603 徳川家康が征夷大将軍となる 1641 鎖国の体制が固まる	南部家墓所(北山) 山蔭窯(茶畑)・花古窯(新庄)	
		近代		1853 アメリカの使節ペリーが浦賀に来る 1867 大政奉還 王政復古の号令		
	明治時代 大正時代		150年前 1923	1867 大政奉還 王政復古の号令 1923 関東大震災		

作業風景 (小山遺跡)

作業風景 (盛岡城跡)



第43回埋蔵文化財調査資料展

# 盛岡を 発掘する

—令和7年度調査速報—  
2/7(土)~5/17(日)

盛岡市  
遺跡の学び館

〒020-0866  
盛岡市本宮字荒屋 13-1  
TEL 019-635-6600  
FAX 019-635-6605

令和7年度  
調査成果報告会

日時：3/1(日)13:30~  
会場：当館研修室  
募集：2/4(水)10:00~  
応募フォームまたは  
電話にて受付(先着順)  
資料代 200円

作業風景 (上米内遺跡)

# 令和7年度発掘調査遺跡

## 里館遺跡 第72次調査 (北天昌寺町)

盛岡駅から約2km北西の天昌寺町・北天昌寺町に所在する遺跡で、雫石川北岸の台地上に位置しています。過去の調査では、陶磁器など主に14～16世紀の遺構や遺物が見つかり、特に現在の天昌寺付近からは15～16世紀の豪族の城館跡が発見されています。

今回の調査では、中世以降のものと考えられる土坑2基と小柱穴16口が発見されました。調査区南側で見つかった土坑は、土坑墓の可能性が考えられます。遺物が発見されなかったことから詳細な時期は分かりませんが、周辺の調査の事例から14～16世紀のものと考えられます。



土坑

## 国史跡 盛岡城跡 第48・49次調査 (内丸)

旧北上川と中津川の丘陵を利用して築かれた平山城で、初代盛岡藩主の南部信直とその子で2代藩主の利直が、約40年もの歳月をかけて築いた南部氏の居城です。明治維新後、城内の建物はほとんど取り壊されますが、築城当時を知ることができる石垣が良好に残されていることから、昭和12年(1937)に国指定史跡となりました。



本丸地区 礎石

今年度は、三ノ丸では瓦門の内容確認調査を行いました。調査地点は木の根や公園整備の工事により大きく乱されていたため、瓦門跡と思われる遺構は確認されませんでした。瓦門周辺の堀に使われたと思われる瓦が多く出土しました。本丸地区では、本丸御殿跡等の遺構確認調査を行いました。調査の結果、平成5年度の調査で発見された礎石を再確認し、それに続く礎石が発見されたほか、新たに本丸御殿の礎石13石を確認しました。

## 右京長根遺跡 第6次調査 (緑が丘)

盛岡駅から北北東に約3.4km離れた緑が丘地内にある、北上川東岸の丘陵に位置する縄文時代の遺跡です。近隣には西黒石野遺跡や黒石野平遺跡があります。右京長根遺跡を含む周辺の地域は、丘陵を刻む沢によって侵食され、起伏の多い地形になっています。これまでの調査でも、縄文時代の陥し穴状土坑(動物を狩猟する罠)が数多く発見されています。

今回の調査では、土坑を1基確認しました。土坑はその形状から、縄文時代の人々が狩猟に使用した陥し穴と考えられ、当時この地域は狩猟の場であったと考えられます。今回の調査では、遺物は確認されませんでした。



調査区全景

## 上米内遺跡 第8次調査 (上米内)

米内川流域の低位段丘上および高森山山地北端部に位置する遺跡です。過去の調査では、竪穴建物跡90棟以上、土坑500基以上など多くの遺構が見つかり、大規模な集落であったと考えられています。

今回の調査では、縄文時代晩期の土坑59基と遺物包含層が見つかりました。土坑は重なり合った(切り合った)状態で見つかり、貯蔵穴または墓だつたと考えられます。

遺物は土坑内または土坑上部に集中しており、縄文時代晩期の土器・石器が出土しました。



台付鉢形土器

## 小山遺跡 第45次調査 (東中野町)

盛岡市街地から南東に約2kmの丘陵地に立地する遺跡です。東側には縄文時代前～中期を主体とした砂溜遺跡、和田遺跡、仁反田遺跡が分布し、これらをまとめて小山遺跡群としています。過去の調査では竪穴建物跡、土坑、縄文土器や石器などが見つかりました。

今回の調査では竪穴建物跡2棟、土坑6基、小穴2口が見つかり、竪穴建物跡からは石囲炉が見つかりました。複数の竪穴建物跡や土坑が重複していることから、調査地点は縄文時代中期の集落跡と考えられます。遺物は縄文土器、土偶、石器が出土しました。



大木8b式土器